

取組事例

1 市町村の事例

(6) その他の特色ある活動

事業名

「生き方リレートーク 朝活」
～話す力・聴く力を育てる講座～

目的

人前で話すトレーニングを通じて自己理解・自己管理能力を高め、人の話を聴くことで人間関係の形成・社会形成能力を身につける。

実施主体

新潟市若者支援センター

参加対象

18歳～39歳 までの若者

参加者数

69名

回数

11回

日数

11日

時間

20時間

場所

新潟市若者支援センター サポートスペース (万代市民会館内)

内容

若者の交流の場として朝活をきっかけに交流会を開催した。趣味や映画などをテーマに若者同士が興味のある話題について話し合い、自分以外の人の考えや生き方を知る。

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	10月11日(木)9時半～11時半	何の秋?	大学生
	10月25日(木)9時半～11時半	おすすめの本(漫画もOK)	
	11月13日(火)9時半～11時半	おすすめの音楽	
	11月22日(木)9時半～11時半	プレゼン大会	
	11月30日(金)9時半～11時半	タカラモノ	
	12月14日(木)9時半～11時半	プライド	
	1月 8日(火)9時半～11時半	学生の時の話	
内容・方法	朝の時間を活用しファシリテーターを1名置き、定員8名の枠で参加者が安心できる環境で行った。参加者と話題や興味の価値観が近い大学生のファシリテーターを置くことで、同じ目線で緊張感がなくなり、安心して表現できる場になった。 テーマについて話すポイントをA4サイズ1枚の紙に書いて発表した。 (自己紹介30分、テーマについて1時間半)		
2	期日・時間	テーマ	講師等
	9月20日(木) 18時～20時	好きなこと、趣味	大学生
	12月 6日(木) 18時～20時	マニアックな話	
	12月20日(木) 18時～20時	今年のビッグニュース	
内容・方法	若者同士の交流を目的とした主催事業「Café de Ban-Shi」の中で、夜の時間を利用し朝活と同様の内容で行った。 仕事を終えた社会人や自主活動グループのメンバー、センターの居場所利用者が参加した。		

成果

- ・生活のリズムを朝型にできた。人前で自分の考えを話すことは、就職の面接の練習になった。朝活を主催したいと意欲的な若者が出てきた。環境や年代の違う若者がつながり社会人が主催している朝活へセンター居場所利用者が参加し社会とつながるきっかけができた。
- ・広報は、従来の紙媒体だけでなく若者同士の口コミ、HP、フェイスブックなど若者へ情報が届く新しい方法での告知により各回はほぼ定員に達した。
- ・居場所を利用する若者は、男性が多いこともあるが、女性が参加したいと思うような広報を工夫する。

課題**問合せ先**

新潟市若者支援センター(担当 岡) 電話 025-247-6781

事業名

〔 ～新潟から未来へ一歩～ 若者挑戦プロジェクト につぼ 〕

目的

若者発案によるイベントの企画運営を通して、ネットワーク作りや活動運営のノウハウを学ぶとともに、若者同士の交流を促し、仲間づくりを進める。

実施主体

新潟市若者支援センター、NPO法人まちづくり学校

参加対象

18～39歳までの若者

参加者数

延べ120名

回数

5回

日数

12日

時間

30時間

場所

新潟市若者支援センター（新潟市万代市民会館内） 他

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	①6月29日（金） ②7月 3日（火） ③7月 7日（土） ④11月1日（木） 19：00～20：30	「若者語り場」 ①若者が集う場づくり 「若者語り場」 ②若者目線の情報発信 「若者語り場」 ③自分らしい生き方 「若者語り場」 ④大学生VS新入社員	
	内容・方法	様々なジャンルから、新潟で活躍する若者をゲストとして呼び、人とのつながりやネットワークについてのトークセッションを行い、仲間づくりを進めた。 ゲスト：①「新潟×朝活」主宰者，司会業 ②情報誌「LIFE-mag」発行人，新聞記者 ③みらいずWorks代表，新潟市職員	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	7月16日（月・祝） 13：30～16：30	オープニングイベント「あなたの夢を私たちと一緒に探しませんか？」（パネルディスカッション）	
内容・方法	夢を追いかける若者の話を聞き，会場の若者との意見交換を行った。 ゲスト：FMラジオ ナビゲーター，陶芸家，インターネットショップ管理人，司会業 ご当地アイドル		
3	期日・時間	テーマ	講師等
	11月18日（日） 10：00～16：30	A small tour to enjoy Niigata！ （外国人と巡る新潟ツアー）	
内容・方法	新潟市に住む外国の方や若者に，もっと新潟の良さを知ってもらうために，新潟ならではの食と文化を楽しめるツアーを開発し，参加者を募り催行した。 ツアー概要：笹団子作り→ピア万代→白山神社，燕喜館→古町散策		
4	期日・時間	テーマ	講師等
	12月9日（日） 10：00～17：00	8区井プロジェクト（秋冬編）	
内容・方法	新潟市8区を代表する旬の食材を使い，オリジナルレシピを考案した。また，8区すべての食材を盛り合わせた「8区井」を創作した。		

	期日・時間	テーマ	講師等
	9月～3月 月1～2回開催	五泉プロジェクト（五泉朝活）	
5	内容 ・ 方 法	<p>地域（地元）を活性化させるためには、若者が主体となり地域の未来を語る場が必要であることから「朝活」を行った。地元の良さなどについて語り合いながらネットワーク作りを行った。 ※五泉市出身（新潟市在勤）の若者の発案により、五泉市内で「朝活」を行った。 「朝活」とは…若者の間で行われている、休日の朝（午前）の時間を有効活用して交流会や勉強会を行うこと。</p>	

成 果

- ・「若者語り場」「オープニングイベント」の実施を通して、イベントの企画運営方法を学んだ。その後グループ別活動に移行し、興味のある分野で主体的により深く学ぶことができた。
- ・若者が職場や学校以外の人と知り合う機会となった。様々な視点からの意見をもとに話しあいをすることで視野が広がった。
- ・活動の様子は随時ホームページ、フェイスブック、ツイッターなどで広報した。イベントの告知や参加者募集はホームページ、フェイスブックなどを活用した。

課 題

- ・打ち合わせに代わる情報共有ツールとして、ホームページの掲示板、メールリングリスト、フェイスブックなどを利用したが、情報の分類整理に工夫が必要である。

問合せ先

新潟市若者支援センター（担当 近 ） TEL 025-247-6781

事業名 [まちなか大学]

目的 長岡技術科学大学、長岡造形大学、長岡大学、長岡工業高等専門学校と連携し、各大学の特色を生かした講座を開講することで、一般市民が地域の高等教育機関の専門性に触れ、深い学びを実現することを目的とする。

実施主体 まちなかキャンパス長岡運営協議会

参加対象 一般 **参加者数** 894名(実施中・延べ数)

回数 48回 **日数** 48日(延べ数) **時間** 73.35時間

場所 まちなかキャンパス長岡301会議室ほか(現地学習あり)

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	平成24年5月～平成25年3月 (各回1時間半程度)	大人向け8講座(文学、縄文研究、漫画文化、数学、芸術、防災、環境、コミュニケーション) 親子向け2講座(天体望遠鏡作り、地域の歴史)	長岡技術科学大学、長岡造形大学、長岡大学、長岡工業高等専門学校教員、学芸員、行政職員等
	内容・方法	・じっくり学べるよう、5回連続講座としている。(親子向けは3回連続。ほか一部例外有) ・7割以上出席した人に、“修了証”を発行し、学びの意欲を駆り立てている。 ・受講生には“まちなかキャンパス長岡学生証”を発行している。学生証をカードリーダーに通して出席をとる、100店舗ほどの協力店で“学割”が使えるなど、学生に戻ったような気持ちになれる演出をしている。	

成果 受講生の満足度が高い講座が多く、高度な学びへの期待が伺えた。

課題 受講者数が定員に満たない講座が目立つ。より多くの人に参加しやすい時間帯に設定すること、連続講座を通じて何が得られるのかを、明確に打ち出すことが必要と思われる。

問合せ先 長岡市生涯学習文化課 まちなかキャンパス長岡(担当:青柳) TEL:0258-39-3300

事業名 [長岡市生涯学習推進大学（第5期1年次）]

目的 地区コミュニティセンター・地区公民館における生涯学習に関する事業の協力や支援等のできる者の育成を目的とする。また、主体的に市民の生涯学習に関する事業を推進できる者の育成を目的とする。

実施主体 長岡市中央公民館

参加対象 地区コミュニティセンター・地区公民館からの推薦者及び自己推薦者

参加者数 58名(受講者数)

回数 15回 **日数** 15日 **時間** 42時間

場所 長岡市中央公民館大ホール他に館外学習・移動教室

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	平成24年5月～平成24年12月	「生涯学習推進員に関する力量を高めよう」～生涯学習の推進、協力、運営の力量を高めよう～	大学教授、学芸員 人材育成コンサルタント 福祉施設長、会社経営者 市社会教育委員、市職員
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none">・2年間を学習期間として、「一般教養」「リーダー研修」「地域づくり」「生涯学習推進」の4領域を設定し、各領域ごとに3～4回程度を学習し、年間15回（通算30回）の講座を実施する。・受講者を10グループに編成して講座の準備や講師接待等の役割を分担し、グループごとのまとまりを大切にしながら自主的に運営する。・定期的に学級会を開催し、受講者の親睦をはかるとともに、受講者の現状を把握しながら運営する。	

成果 生涯学習に関する講座への参加が初めての受講者が多く、学習意欲が高くどの講座も熱心に取り組む姿が見られた。また、新たに自主的に講座を計画、開設するなど意欲旺盛の姿が見られた。

課題 受講者が地区コミセンや地区公民館で、自分たちの力で事業の企画、運営できるように講座開設の実践演習やコミュニティセンター長から生涯学習推進員によせる期待や要望を話していただく講座の開設等、学習内容の一層の充実を図る。

問合せ先 長岡市中央公民館（担当：青柳） TEL：0258-32-0437

事業名 [まちなかカフェ]

目的 “学びの入口”として、市民に学びきっかけを提供する。
単発講座であること、お茶を提供すること、多分野に渡り数多く開講することで多くの市民の関心を引くよう工夫している。

実施主体 まちなかキャンパス長岡運営協議会

参加対象 一般 **参加者数** 765名(実施中・延べ数)

回数 55回 **日数** 55日(延べ数) **時間** 85.5時間

場所 まちなかキャンパス長岡サイエンスカフェコーナー、創作交流室ほか

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	平成24年4月～平成25年3月 (各回1時間半程度)	多文化：11講座、防災：3講座、サイエンス：7講座、ビジネス：4講座、芸術：5講座、食：6講座、自然：5講座、歴史：8講座、子ども向け：6講座	長岡技術科学大学、長岡造形大学、長岡大学、長岡工業高等専門学校教員、地元企業、スポーツ選手等
	内容・方法	<ul style="list-style-type: none">受講生にコーヒーや紅茶などの飲み物を提供する。講師と受講生が双方向コミュニケーションがとれるよう、定員20名を基本としている。通りがかりの人も気軽に講座を見学できるよう、オープンスペースで開講している。見学者は申込み不要で、無料(飲み物なし)としている。	

成果 年配の方はもちろん、20～30代の若い年齢層の受講生が目立つ。若い人にも好まれる講座内容としたこと、気軽に受講できる単発型、カフェスタイル式が良かったのではないかと思う。子ども向けの講座も、夏休みに開講したことで多くの受講生で賑わった。

課題 双方向コミュニケーションが生まれにくいいため、講師への事前説明や、会話を促進するファシリテーターの育成が求められる。

問合せ先 長岡市生涯学習文化課 まちなかキャンパス長岡 (担当：青柳) TEL：0258-39-3300

事業名

子育てママのためのヤングカルチャー講座
(忙しいママの時短料理)

目的

学習機会のきっかけづくりや同世代のお母さんとの仲間づくり、子育てから少し離れ自分の時間を作ることにより、リフレッシュしてもらうことを目的とする。

実施主体

柏崎市教育委員会 生涯学習課

参加対象

保育園：幼稚園入園前の子どもを子育て中のお母さん

参加者数

6名

回数

1回

日数

1日

時間

2時間

場所

柏崎市市民プラザ

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	9月8日(土) 午前10時～12時	ママもカルチャーデビューしましょう！ 作りおきできるものを更にアレンジして作る時短レシピを紹介します。時短料理で子育てライフを楽しみましょう！	栄養士 前澤 早苗 様
	内容・方法	<p>元気館子育て支援センターの『柏崎市ファミリーサポートセンター』と連携し、講座の終了時まで保育スタッフが子どもを預かる。料理実習と会食。</p> <p>◆ ワンプレート料理◆ ～「肉そぼろ」を作りそれをアレンジして作る時短料理～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ きゃべつの春巻き ・ 肉みそめん ・ なすのそぼろ炒め ・ 塩こうじと雑穀米のおにぎり ・ そぼろ入り卵焼き 	

成果

- ・ 市として初めての試みで、若い子育て世代を対象に講座を実施した。受講者からは、「子どもを預けてということにすごく抵抗があったが、思い切ってやってみて良かった」という声が聞かれ、引き続き開催してほしい等の意見があった。

課題

- ・ 子どもと離れても安心して講座に参加できるようにしっかりサポートし、充実した講座となるような企画を提案したい。

問合せ先

柏崎市教育委員会 生涯学習課 電話：0257-20-7500 fax:0257-22-2637

事業名 [こころイキイキ リフレッシュ こころの健康講座]

目的 日頃抱えているストレスを解消するためにできることを学び、心や体に変調をきたす前にどうしたらよいかを考える。

実施主体 十日町市中央公民館

参加対象 十日町市民 **参加者数** 延べ60名

回数 3回 **日数** 3日間 **時間** 5時間

場所 十日町市中央公民館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	7月6日(金) 14:00~15:30	「よく眠れるためには？睡眠のお話」	ほんだ病院 医師 中島 悦子 様
	内容・方法	睡眠の種類、睡眠不足が体に及ぼす影響、不眠症の対策、またうつ病と睡眠との関係などについて、医師による講話を行った。	
2	7月13日(金) 14:00~15:30	「①体にいい食事・栄養のお話」 「②こころのリフレッシュ！体を動かしましょう」	① 管理栄養士 蕪木 康子 様 ② インストラクター 大口 悦子 様
	内容・方法	栄養についての講話の後に、運動方法について実技で学ぶ二部構成。栄養については、バランスの良い食事の摂り方、心の健康を保つために摂取したい栄養素などについて、栄養士から話をしてもらった。また、ストレス発散のために誰でもできる簡単な体操方法を実技で学んだ。	
3	7月27日(金) 14:00~16:00	「心の健康を考える～参加者同士のワークショップ～」	十日町地域振興局健康福祉部職員
	内容・方法	第1回・第2回の講座の内容について理解を深めるために、参加者同士で話し合うグループワーク形式で行った。和やかな雰囲気を進めるために、ハーブティーを用意した。また、講座の最後には「うつ・自殺」対策の現状について、市保健師から話をしてもらった。	

成果 ・講義の最後に質疑応答の時間を充分に取ったので、参加者が疑問に思っていることを聞いて良かったし、他の参加者の質問も参考になり、アンケートでは満足できたという回答が多かった。
また、講座に参加したことをきっかけに、病院を受診したという声も聞かれた。

課題 ・参加人数の増加。

問合せ先 十日町市中央公民館業務係（担当：大久保朋美） TEL:025-757-5011

事業名

〔 十日町市郷土芸能サミット 〕

目的

広く市民に芸術・文化に触れる機会を提供し、芸術・文化に取り組む人口の拡大を図る。保存団体における後継者育成の糸口となるようにする。

実施主体

十日町市生涯学習課

参加対象

十日町市民

来場者数

350名

回数

1回

日数

1日間

時間

3時間

場所

十日町市市民会館

内容

回	期日・時間	テーマ	出演団体
1	9月30日(日) 13:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> 郷土芸能のすばらしさを伝える。 各地域に継承されている郷土芸能を知ってもらう。 	中条大の坂保存会 飛渡あわせおけさ保存会 吉田神社豊栄舞 新保広大寺節保存会 水沢伝統芸能保存会 千手露香保存会 中里芸能協会 上川手歌舞伎保存会
	内容・方法	出演団体による郷土芸能の発表。	

成果

- 来場者に、芸術・文化に触れる機会を提供することができ、また、それぞれの地域の郷土芸能を知ってもらう機会になった。
- 出演団体の方々に、他団体との和を広げていただく機会になった。
- 市民会館での発表は、各団体の励みとなった。

課題

- 来場者の方々の多くは、お年寄りやご年配の方であった。若い世代の方たちにも来場していただき、伝統文化に興味や関心を持ってもらえるような工夫が必要。
- 今回のサミットはきっかけの一つであり、伝統文化に興味や関心を持ってもらう事や各団体の後継者育成の課題には継続的な取り組みが必要。

問合せ先

十日町市生涯学習課文化振興係（担当：柳昌光） TEL:025-757-8918

事業名 [加治川地区公民館まつり]

目的 学習の成果を発表する場の提供と子どもが楽しめる公民館まつり

実施主体 加治川地区公民館

参加対象 市民 **参加者数** 967名

回数 1回 **日数** 2日 **時間** 2日で16時間

場所 加治川地区体育館

内容 公民館活動団体の作品展示とステージ発表及び子ども体験事業

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	11月10日・11日	公民館まつり子ども体験事業	職員ほか
	内容・方法	バルーンアート体験（10日）→ 子どものリクエストに応じた作品づくり。 子どもガラポン（10日・11日）→ ガラポンを体験する。 綿がし体験（10日・11日）→ 綿がし作りを体験する。 切り絵体験（11日）→ 切り絵で絵手紙を作成する。 カントリークラフト体験（10日）→ 自然の材料を使い、自由に作品を作る。	

成果 ・ 公民館活動団体の作品発表の内容、出品数の拡大をしつつ、子どもが楽しめる公民館まつりを達成できた。

課題 ・ 出品作品及び事業をさらに増やすこと。
「子どもの頃の楽しい思い出」となりうる公民館まつりの実現

問合せ先 新発田市加治川地区公民館 業務係 （担当：松田） 電話0254-33-2433

事業名

〔市民教室 「地元の枝豆 大峰かおり栽培・調理教室」〕

目的

地元の特産品を栽培から調理まで手掛けることにより、地元特産品を知ってもらい、地元へ愛着を持つきっかけとなるような教室としたい。

実施主体

新発田市中央公民館

参加対象

一般市民

参加者数

11名

回数

4回

日数

4日間

時間

8時間

場所

新発田市中央公民館 講義室・調理実習室

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月29日 13:30～15:30	大峰かおりの栽培①	そうえん農場 下條 莊市 様
	内容・方法	・大峰かおりについて ・栽培方法など	
2	8月10日 13:30～15:30	大峰かおりの栽培②	そうえん農場 下條 莊市 様
	内容・方法	・栽培方法（途中経過） ・消毒など	
3	9月7日 13:30～15:30	大峰かおりの栽培③	そうえん農場 下條 莊市 様
	内容・方法	・収穫 ・保存方法など	
4	10月3日 13:30～15:30	大峰かおりの調理④	食生活改善推進委員 星ミイ子・橋本美代子 様
	内容・方法	新発田市の食材と料理を紹介した本「しばたのおかず」の中から、「枝豆と卵のホロホロ」と「枝豆腐」を調理、試食	

成果

・地元の特産品を栽培だけでなく、調理までしたのが好評でした。自分で栽培したという成果もあり、男性も調理に積極的に参加していただきました。地元の特産品のおいしさを知り、地元へ愛着を持つきっかけとなる教室になったと思います。

課題

・どの段階から育てるかによって、難しさが変わる食材でした。
・自分で栽培した枝豆を調理する予定でしたが、生育にばらつきがありました。
・参加者同士が気軽に情報交換できる環境づくり。

問合せ先

新発田市中央公民館事業係（担当：長谷川 勲） TEL：0254-22-8516

事業名	〔 第6回生涯学習フェスティバル 〕		
目的	生涯学習実践者が一堂に会し、学習成果を発表し、生涯学習の啓発を図る。		
実施主体	佐渡市教育委員会 社会教育課		
参加対象	一般	参加者数	延べ950名
回数	1回	日数	1日
場所	両津文化会館、両津地区公民館		
内容			

回	期日・時間
	12月10日（月）～14日（金） 18:00～21:00 リハーサル（全団体）
	12月16日（日） 開場 10:30 開演 11:00 終了予定 16:30 ※入場無料
1	<p>公民館自主講座登録団体による芸能発表（1団体10分）25団体 同時開催として、ジオパークコーナー・販売コーナー（両津文化会館）、図書館コーナー（両津地区公民館）を開催しました。</p> <p>【芸能発表 出演団体】 （両津地区）両津華扇子供会（民踊）、音色の会（琴・三味線）、両津民踊教室、プルメリア両津（フラダンス） （相川地区）Loveあいかわ 佐渡（民謡）、海府民踊クラブ （佐和田地区）合気道道光道場 佐渡支部、フラ・ハラウ・カナロア（フラダンス）佐渡太極拳愛好会、SADOMON夢咲心和（よさこい） （金井地区）金北民謡の会 （新穂地区）青柳会（現代舞踊）、よさこい翔舞 （畑野地区）すいよう会（歌謡舞踊）、トランポピクス、カサブランカの会（レクダンス）シャル・ウィ・ダンスサークル （真野地区）女話会（民謡）、真野仕舞教室 （羽茂地区）羽茂民謡研究会 （赤泊地区）赤泊民話かたり部の会、赤泊民謡愛好会、赤泊演劇研究会、寿流・花折鶴（舞踊） （佐和田・新穂・畑野 大正琴合同発表）ブルーベリーズ（佐和田）、花美月（新穂）、古琴クラブ（新穂）、華梅会（畑野）、サンフラワーズ（畑野）</p> <p>【図書館コーナー】 11:00～12:00 ○読み聞かせコーナー（佐渡子どもと絵本をつなぐ連絡会） ○展示コーナー（図書館活動を紹介）</p> <p>【ジオパークコーナー】 12:00～14:00 ○ジオ体験コーナー ○ジオパネル展示コーナー ○ビデオ放映</p> <p>【販売コーナー】 ○障がい福祉施設による授産品の販売（カレーライス、パン、クッキーなど） ○そば打ちの会（小木地区公民館自主講座）による「そば」の提供 12:00～12:30 （100食限定／無料）</p>

成 果

- ・昨年度と内容を変えて実施した。
生きがいや楽しみづくり、地域の伝統芸能を継承するために公民館自主講座登録団体による日頃の成果を発表することができた。その他に、特設コーナーとして図書館コーナー、ジオパークコーナー、販売コーナーを同時開催し、延べ950名もの多くの方々から参加いただいた。

課 題

- ・生きがいや楽しみのきっかけづくりとして、老若男女楽しめるような出演団体の選定や特設コーナー及び周知徹底が課題となる。

問合せ先

佐渡市教育委員会社会教育課（担当：土屋貴伸） TEL 0259-27-4185

事業名 [阿賀野市生涯学習ガイド指導者編「まちの達人」作成]

目的 市民の生涯学習活動に役立つように、講座・講習会・教室等で講師としてご協力をいただいた方々の情報を冊子にまとめ、配布する。

実施主体 阿賀野市教育委員会 生涯学習課

掲載人数 県内・市内指導者109名

発行 平成24年4月

内容

回	期間	内容	分野別名簿数(複数登録有)
1	平成24年4月～平成26年3月 (2年間その後改訂予定)	市主催の講演及び教室等に講師を紹介、各団体及び学校等関係機関の研修・講座に活用してもらう。	生涯学習全般 18 社会・歴史・経済 8 自然科学 8 産業・技術 6 文化教養趣味 40 スポーツ・レクリエーション 23 家庭・市民生活 38 ボランティア 25
	内容・方法	<p>(1)掲載の対象 ① 平成22・23年度に教育委員会及び市役所各課(局)が開催したさまざまな事業で、講師・指導者・助言者などとしてご協力いただいた、県内在住または在勤の方。 ② その他、市教育委員会及び市役所各課(局)から、生涯学習の指導者として特に推薦のあった方。 ③ 市の名簿掲載に承諾をいただいた方。</p> <p>(2)掲載の方法 指導内容ごとに分類し、50音順にまとめている。</p> <p>(3)情報の収集 ・各課(局)に実績報告書の作成を依頼してまとめた。 ・生涯学習課で実施している「家庭教育ゆめ事業」の報告書から講師名を拾い出し、文書(返信封筒)にて掲載の確認を実施。</p> <p>(4)情報の利用 ① 原則、掲載されている方への依頼は直接本人と交渉となるが、掲載者の希望があれば生涯学習課を経由して、依頼している。 ② 冊子は市役所各課(局)、市内の小中学校、幼稚園・保育園に配布。公民館・博物館・図書館等の窓口に置き希望者にも配布。市ホームページにも掲載している。</p>	

成果 ・ 市民や学校等関係機関からの問い合わせに対して速やかに情報が提供され、生涯学習の推進に役立っている。

課題 ・ 講師の高齢化等により、新規の講師発掘に向けて関係機関の連携が必要。

問合せ先 阿賀野市教育委員会 生涯学習課 社会教育係(佐藤) TEL:0250-62-5322

事業名

〔平成24年度阿賀野市文化祭〕

目的

一般市民の芸術文化活動への関心と水準を高めるため、鑑賞・発表会の機会を提用し、芸術文化活動の推進及び活性化を図る。

実施主体

主催 阿賀野市教育委員会
共催 阿賀野市安田文化協会・京ヶ瀬地区文化団体連絡協議会・阿賀野市水原文化協会・
笹神地区文化協会
主管 各区地区文化祭実行委員会

参加対象

市民

参加者数

来場者数 4,577名 出展・出演団体数 218団体

回数

各地区1回

日数

延べ6日間

場所

市内各公民館・体育館・福祉会館等 全13会場

内容

地区	期日・時間	テーマ	協力団体数
安田地区	10月14日(日)	安田芸能のつどい	安田文化協会加盟団体等 12団体
	11月3日～11月4日	安田文化祭作品展覧会等	安田文化協会加盟団体等 23団体
	内容・方法		
	芸能のつどい：会場 安田体育館 地区内の団体・小学校児童による発表会 227名来場 文化祭：会場 安田体育館・安田公民館 団体・市民・企業が出展 作品数650点 719名来場		
京ヶ瀬地区	11月3日～11月4日	京ヶ瀬文化祭作品展覧会等	京ヶ瀬地区文化団体連絡協議会加盟団体等 10団体
	11月11日(日)	京ヶ瀬芸能祭	京ヶ瀬地区文化団体連絡協議会加盟団体等 20団体
	内容・方法		
	文化祭：会場 保健福祉センター京和荘 団体・市民・小学校児童が出展 作品数458点 330名来場 芸能祭：会場 保健福祉センター京和荘 地区内の団体による発表会 450名来場		
水原地区	10月28日(日)	芸能発表会	水原文化協会加盟団体 29団体
	11月4日(日)	音楽部門コンサート	水原文化協会加盟団体 1団体
	11月2日～11月4日	水原文化祭作品展・催事等	水原文化協会加盟団体等 21団体
	11月3日(土)	市民茶会	水原文化協会加盟団体 3団体
	内容・方法		
	芸能発表会：会場 水原公民館 地区内の団体による発表会 250名来場 音楽部門コンサート：会場 水原公民館 地区内の団体による発表会 80名来場 文化祭：会場 水原総合体育館 団体・市民が出展 作品数373点 1,266名来場 市民茶会：水原代官所・福祉会館 地区内の団体によるお茶会 250名来場		
笹神地区	11月3日～11月4日	笹神文化まつり作品展・催事等	笹神地区文化協会加盟団体等 23団体
	11月3日(土)	芸能発表会	笹神地区文化協会加盟団体等 15団体
	11月4日(日)	ナツメロ大会	市内住民 62名
	内容・方法		
	文化まつり：会場 笹神ふれあい会館・笹神支所 団体・市民・保育園が出展 作品数306点 1,005名来場 ナツメロ大会：会場 笹神ふれあい会館 市民参加によるカラオケナツメロ大会 320名来場 芸能発表会：会場 笹神ふれあい会館 地区内の団体による発表会 370名来場		

成 果

- ・ 各地区実行委員自ら会場の設置撤去及び展示作業を行い、市民参加による協働事業として定着してきた。

課 題

- ・ 出品者の高齢化がみられ、若い人からの参加が望まれる。
- ・ 地区開催している展示会や芸能発表会での出品者・出演者の交流または開催の統合。

問合せ先

阿賀野市教育委員会 生涯学習課 社会教育係（佐藤浩治） TEL:0250-62-5322